

タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**医学部保健学科**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	2.0
時間割コード	20132050668001	科目番号	20506680
授業科目名	生活障害と人間の尊厳		
編集担当教員	松坂 誠應		
授業担当教員名(科目責任者)	松坂 誠應		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松坂 誠應		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[保]101		
対象学生(クラス等)	看護・理学・作業1年		
担当教員Eメールアドレス	matsu_report@hotmail.com		
担当教員研究室	保健学科3F		
担当教員TEL	095-819-7961		
担当教員オフィスアワー	火曜日		
授業のねらい	<p>人間を身体的・心理的・社会的から理解を深め、保健医療従事者になる者として必要な基本的な事項を学習する。</p> <p>モジュールIでは人間の発達や健康問題、障害を日常生活や社会生活と関連して概論的に学習し、モジュールIIでは各ライフステージや生活の状況における健康問題を掘り下げて学習する。</p> <p>「生活障害と人間の尊厳」では、看護師や理学療法士、作業療法士が担当する病者や障害者とその家族に焦点を当て、病気や障害に影響を及ぼす要因を明らかにし、保健医療従事者に必要な基本的な事項を学習する。また、人の尊厳、生命倫理についても学ぶ。</p>		
授業方法(学習指導法)	<p>DVDやスライドなど病者や障害者の映像、マスメディアやインターネット記事を見ながら、病者や障害者が抱える今日の問題を考える。他のモジュールI科目「ライフサイクルと健康」「障害とインクルージョン」と連動して学習する。</p> <p>モジュールIの3科目共同でテーマを設定し、教養ゼミナールで討論する。</p> <p>講義最終日に「最終課題」を課すので、これについて期日までレポートすること。</p> <p>詳細なシラバスは初回授業時に配布する。</p>		
授業到達目標	病気や障害に影響を及ぼす要因、人の尊厳、生命倫理について説明できる。		
	<p>高齢者や障害のある人の生活を通して、健康問題によって引き起こされた障害を多面的に理解する。さらに、障害に起因する偏見・差別、虐待、人工中絶などの問題を考える中から、人の尊厳、生命倫理についても学ぶ。</p> <p>内容の①～④は「校時」を示す(4/6①:4月6日1校時) 文教キャンパスでの開講4/5、4/12、4/19 その他は保健学科101講義室</p>		
	回	内容	

授業内容	1	4/5①：学部モジュール（人間の理解と保健学）全体のオリエンテーション
	2	4/5②：障害者・病者と家族の暮らし
	3	4/9③：障害とは？障害に影響及ぼす要因（国際生活機能分類の考え方）
	4	4/9④：障害者役割と障害者役割
	5	4/12①：健康とは（ライフサイクルと健康1）
	6	4/12②：生命の尊厳（人間はいつまで人間か？）重度障害者の尊厳死から考える
	7	4/16③：生命の尊厳（薬害、被害者の講話）
	8	4/16④：生命の尊厳（人間はいつから人間か？）障害胎児の人工中絶から考える
	9	4/19①：障害は乗り越えられるか？DVDを見て考える
	10	4/19②：障害の受容、若い障害者の手記から考える
	11	4/23①：偏見差別はどうして生まれるか？ 「障害を持つ人の生活」（千住）10：30～12：00 「精神障害を持つ人の生活」（田中）12：50～14：20 千住・田中教授と一緒に討論
	12	4/23④：地域リハビリテーションの意味とアプローチ
	13	6/4①：リハビリテーション医療（国際生活機能分類から考える）
	14	6/4②：リハビリテーションと地域社会（国際生活機能分類から考える）
	15	6/25①：支え合う社会を目指して（まとめ）
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	配布資料	
成績評価の方法・基準等	授業後に出す課題レポート（30%）、授業への貢献（20%）、最終課題（50%）で評価。 注意：課題レポート及び最終課題で、ホームページ等の丸写しはカンニングとみなす。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	専門科目への導入	
学習・教育目標	①自ら考える態度を修得する。 ②自ら学ぶ態度を修得する。 ③自らの考えをまとめ発表する力を修得する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	前の講義時に課題を提示する。その課題について事前調査をして講義に臨むこと。 講義では、自分の意見が述べられるように準備すること。	



タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**医学部保健学科**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金1,金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	2.0
時間割コード	20132050669001	科目番号	20506690
授業科目名	ライフサイクルと健康		
編集担当教員	浦田 秀子		
授業担当教員名(科目責任者)	浦田 秀子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	浦田 秀子,中尾 優子,星 美和子,岡田 純也		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生(クラス等)	看護・理学・作業1年		
担当教員Eメールアドレス	浦田:hideko@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科4階		
担当教員TEL	浦田:095-819-7947		
担当教員オフィスアワー	昼休み、午後5時～6時		
授業のねらい	<p>人間を身体的・心理的・社会的から理解を深め、保健医療従事者になる者として必要な基本的な事項を学習する。</p> <p>モジュールIでは人間の発達や健康問題、障害を日常生活や社会生活と関連して概論的に学習し、モジュールIIでは各ライフステージや生活の状況における健康問題を掘り下げて学習する。</p> <p>「ライフサイクルと健康」では、対象を理解するための基本となる各期の心理的・身体的特徴を理解し、発達課題および健康課題を学習する。</p>		
授業方法(学習指導法)	他のモジュールI科目「生活障害と人間の尊厳」「障害とインクルージョン」と連動して学習する。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 生涯発達の視点からライフサイクルを理解し、発達課題および健康課題について説明できる。 各期の健康課題について説明できる。 1～2より援助を必要とする対象をアセスメントするための基礎知識を理解することができる。 		
	<p>各ライフサイクル(小児期、思春期・青年期、壮年期、更年期、老年期)における人間の発達や健康に関する課題と対応について学ぶ。特に、看護の役割を理解し健康とは何かを学ぶ。</p> <p>内容の①～④は「校時」を示す(4/12①:4月12日1校時) 4月12日～5月24日および5月31日は文教キャンパスでの開講 5月28日及び6月25日は保健学科101講義室</p> <ol style="list-style-type: none"> 4/12①. ライフスタイルと健康(浦田・松坂) 4/26①. 守られる存在—新生児・乳児・学童期—(1)(中尾) 4/26②. 守られる存在—新生児・乳児・学童期—(2)(中尾) 5/10①. アイデンティティの模索と確立—思春期・青年期—(1)(岡田) 		

授業内容	5(5/10②). アイデンティティの模索と確立－思春期・青年期－(2) (岡田) 6(5/17①). 次世代を育む－成人初期－(1) (岡田) 7(5/17②). 次世代を育む－成人初期－(2) (岡田) 8(5/24①). 人生の移り変わり－壮年期－(1) (岡田) 9(5/24②). 人生の移り変わり－壮年期－(2) (岡田) 10(5/28①). 老いを生きる－老年期－(1) (星) 11(5/28②). 老いを生きる－老年期－(2) (星) 12(5/31①). 家族の健康とライフサイクル(1) (浦田) 13(6/25②). 家族の健康とライフサイクル(2) (浦田) 14・15(6/25③). まとめ (浦田・中尾・星・岡田)
キーワード	ライフサイクル、発達課題、健康
教科書・教材・参考書	配布資料
成績評価の方法・基準等	課題に関するレポート(25%)、授業への取組み・グループワークへの貢献(60%)、授業への貢献度(15%)
受講要件 (履修条件)	
本科目の位置づけ	専門科目への導入
学習・教育目標	①自ら考える態度を修得する。 ②自ら学ぶ態度を修得する。 ③自らの考えをまとめ発表する力を修得する。
備考 (URL)	
備考 (準備学習等)	前の講義時に課題を提示する。その課題について事前調査をして講義に臨むこと。 講義では、自分の意見が述べられるように準備すること。



タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**医学部保健学科**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金1,金2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20132050672001	科目番号	20506720
授業科目名	健康を支える家族と社会		
編集担当教員	平野 裕子		
授業担当教員名(科目責任者)	平野 裕子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	平野 裕子,本田 純久,大町 いづみ		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[保]併講義		
対象学生(クラス等)	保健学科1年生		
担当教員Eメールアドレス	hirano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科研究棟4階		
担当教員TEL	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー	事前にメールでアポイントメントをとること		
授業のねらい	保健・医療・福祉領域における今日の家族および地域社会の在り方について、定義、機能、健康問題との関連性、今後の課題等を、2回のフィールドワークを通して、理論的および実践的に学ぶ。		
授業方法(学習指導法)	健康・家族・社会の関連性についての概念的枠組、事例検討を行ったのち、病院および地域社会でのフィールドワーク(実際に現場に赴き、患者や高齢者と接し、現状や課題を学ぶ体験)を行う。		
授業到達目標	健康・病気と、それらをめぐる家族および社会のありかたについて、論理的に説明することができる。		
授業内容	回	内容	
	1	5月31日(金)2限:健康・家族・社会の関係(1)(平野)	
	2	6月7日(金)1限:健康・家族・社会の関係(2)(平野)	
	3	6月7日(金)2限:高齢者の社会的孤立(本田)	
	4	6月14日(金)1限:高齢者を支える地域のつながり(本田)	
	5	6月14日(金)2限:鶴の尾団地「助っ人隊」の活動(ゲストスピーカー)	
	6	6月16日(日)1限:鶴の尾団地におけるフィールドワーク(1)	
	7	6月16日(日)2限:鶴の尾団地におけるフィールドワーク(2)	
	8	6月21日(金)1限:ソーシャルキャピタルと健康(本田)	
	9	6月21日(金)2限:鶴の尾団地におけるソーシャルキャピタル(平野)	
	10	6月28日(金)1限:健康と家族・事例検討(1)(大町)	
11	6月28日(金)2限:健康と家族・事例検討(2)(大町)		

	12	7月5日（金）1限：健康と家族・事例検討（3）（大町）
	13	7月5日（金）2限：長崎大学病院がん診療センターの活動について（ゲスト・スピーカー）
	14	7月12日（金）1限：長崎大学病院がん診療センターにおけるフィールドワーク（1）
	15	7月12日（金）2限：長崎大学病院がん診療センターにおけるフィールドワーク（2）
	16	レポート
キーワード	健康・家族・社会・ソーシャルキャピタル	
教科書・教材・参考書	適宜指示する	
成績評価の方法・基準等	70%レポート、30%授業への積極的な取り組み状況	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	専門科目への導入	
学習・教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.自ら考える態度を修得する 2.自ら学ぶ態度を修得する 3.自らの考えをまとめ発表する力を修得する 	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	<p>本講義は、第一回目は、5月31日（金）の2限の開始となるので注意すること。 2回行われるフィールドワークには必ず出席のこと。それぞれのフィールドワークは、授業2回分に読み替えられる。 なお、鶴の尾団地におけるフィールドワークは6月16日（日曜日）に行われるので予定を空けておくこと。</p>	



タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**医学部保健学科**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	必	単位数	2.0
時間割コード	20132050670001	科目番号	20506700
授業科目名	障害とインクルージョン		
編集担当教員	田中 悟郎		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 悟郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 悟郎		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[保]101		
対象学生 (クラス等)	1年		
担当教員Eメールアドレス	goro@nagasaki-u.ac.jp, senjyu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科5階・3階		
担当教員TEL	田中 (819-7995)、千住 (819-7963)		
担当教員オフィスアワー	田中：17:00-18:00 千住：月曜日17:00-18:00		
授業のねらい	<p>人間を身体的・心理的・社会的から理解を深め、保健医療従事者になる者として必要な基本的な事項を学習する。</p> <p>モジュールⅠでは人間の発達や健康問題、障害を日常生活や社会生活と関連して概論的に学習する。</p> <p>「障害とインクルージョン」では、社会的に不利な状況にある障害者や高齢者、子ども、病気を抱った人も含めてみんなが共に暮らしていける社会とは何かについて学ぶ。</p>		
授業方法 (学習指導法)	<p>DVDやスライドなど病者や障害者の映像、マスメディアやインターネット記事を見ながら、病者や障害者が抱える今日の問題を考える。他のモジュールⅠ科目「ライフサイクルと健康」「生活障害と人間の尊厳」と連動して学習する。</p> <p>モジュールⅠの3科目共同でテーマを設定し、このテーマについてグループ学習 (6名程度) を行い、プレゼンテーションを行う。</p>		
授業到達目標	<p>①みんなが共に暮らしていける社会づくりについて説明できる。</p> <p>②理学療法、作業療法の意義と目的について説明できる。</p>		
授業内容	<p>高齢者や障害のある人が社会の一員として生活するために必要な課題と対応について学ぶ。特に、リハビリテーションの中心となる理学療法や作業療法の役割を理解し、共に暮らしていける社会とは何かについて学ぶ。</p> <p>理学療法 (千住)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「NHKスペシャル たたかうリハビリ」を鑑賞 2. ビデオ鑑賞から、生と死、健康、障害、偏見、差別について考える。 3. 生と死、健康、障害、偏見、差別、尊厳と理学療法 4. リハビリテーションにおける理学療法学の意義 5. 理学療法への期待 6. 地域リハビリテーションに対する長崎大学の活動—呼吸器障害を例にして 		

	作業療法 1.精神障害を持つ人の生活支援 1 (田中悟郎) 2.精神障害を持つ人の生活支援 2 (田中悟郎) 3.発達障害を持つ人の生活支援 1 (徳永) 4.発達障害を持つ人の生活支援 2 (徳永) 5.認知症を持つ人の生活支援 1 (田中浩二) 6.認知症を持つ人の生活支援 2 (田中浩二) 7.身体障害を持つ人の生活支援 1 (北島) 8.身体障害を持つ人の生活支援 2 (北島)
キーワード	
教科書・教材・参考書	配布資料
成績評価の方法・基準等	授業後に出される課題に関するレポート (30%)、授業やグループへの貢献 (20%)、テーマについてのプレゼンテーション (50%) で評価する。
受講要件 (履修条件)	
本科目の位置づけ	専門科目への導入
学習・教育目標	①自ら考える態度を修得する。 ②自ら学ぶ態度を修得する。 ③自らの考えをまとめ発表する力を修得する。
備考 (URL)	
備考 (準備学習等)	前の講義で課題を提示する。その課題について事前調査をして講義に臨むこと。講義では、自分の意見が述べられるように準備すること。



タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**医学部保健学科**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20132050671001	科目番号	20506710
授業科目名	健康と運動		
編集担当教員	田代 隆良		
授業担当教員名(科目責任者)	田代 隆良		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田代 隆良		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生 (クラス等)	医学部(保) ・ 1年生		
担当教員Eメールアドレス	田代 : tashiro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科4階		
担当教員TEL	095-819-7941		
担当教員オフィスアワー	随時		
授業のねらい	運動不足は、運動能力や筋力・骨密度の低下だけでなく、呼吸・循環・代謝・免疫機能などの低下をきたし、生活習慣病、生活不活発病、転倒、骨折などの原因となる。健康に生きるための運動の意義と実践方法について学ぶ。		
授業方法 (学習指導法)	講義にグループワーク、討論、演習、施設見学等を取り入れ、自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体活動と食事のセルフチェックができる。 2. 運動の理論と実践方法を学ぶ。 3. 人間の健康における運動の意義を理解する。 4. 運動不足がもたらす健康障害を知る。 		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と運動について考える (田代) 2. 生活習慣の振り返りと運動実践の意義を考える (中垣内) 3. 筋力トレーニングの実際 (中垣内) 4. 有酸素性運動の実際 (中垣内) 5. 生体の機能と解剖 (村田) 6. 高齢者の健康支援 (村田) 7. 運動と呼吸・循環 (村田) 8. 不活動の影響 (中野) 9. 腰痛・肩こりと運動 (中野) 10. 身近な運動機能障害とその対策 (中野) 11. 生活習慣病 (田代・山口) 12~15. 病院・施設の見学実習とグループワーク (田代・山口・黒田) 16. グループ発表・総括 (田代ほか) 		

キーワード	運動、生活習慣、健康
教科書・教材・参考書	
成績評価の方法・基準等	授業に臨む態度、グループワーク・討論での積極性、発表内容などを総合判定する。
受講要件（履修条件）	特になし
本科目の位置づけ	専門科目、専門基礎科目の入門科目
学習・教育目標	医療専門職として運動の重要性を理解する。 運動トレーニングの実践・指導ができる。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**医学部保健学科**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 5																
開講期間																			
必修選択	選択	単位数	2.0																
時間割コード	20132050673001	科目番号	20506730																
授業科目名	暮らしと環境																		
編集担当教員	中尾 理恵子																		
授業担当教員名(科目責任者)	中尾 理恵子																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中尾 理恵子																		
科目分類	学部モジュール科目																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																
教室																			
対象学生 (クラス等)	1年次生																		
担当教員Eメールアドレス	rieko@nagasaki-u.ac.jp																		
担当教員研究室	保健学科4階																		
担当教員TEL	095-819-7946																		
担当教員オフィスアワー	火曜日13:00-15:00																		
授業のねらい	環境と人々の暮らしや健康とのかかわりについて理解できる。物理的な環境とソーシャルサポートといった人的環境の両面からとらえ、医療者の基礎的な支援の視点を学ぶ。																		
授業方法 (学習指導法)	実際に学外に出て長崎市の斜面地を体験する。そこで考えた現状や課題についてグループディスカッションする。 講義後半は、高齢者や障害者の住環境について学び、まちづくりサポートを行っている方々の話を聞き考えを深める。																		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 斜面市街地の現状と高齢者・障害者への影響について述べるができる。 2. 福祉住環境の支援内容がわかる。 3. ソーシャルサポートとまちづくりがわかる。 4. 環境が健康に及ぼす影響がわかる。 																		
授業内容	<p>地域社会の中で人々の生活に関連する環境をハード面、ソフト面の両面から理解する。ハード面とは、斜面市街地やバリアフリー、福祉住環境、障害者用住宅といった外部としての環境であり、ソフト面とは、人的環境やソーシャルサポート、まちづくりといった内部としての環境である。講義には、長崎市の斜面市街地体験を含む</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス、環境と健康の関係とは (中尾)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>斜面市街地探検①</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>斜面市街地探検②</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>斜面市街地探検③</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>斜面市街地探検での発見 (グループディスカッションと発表会)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>斜面市街地と人々の暮らし 外出支援について (中尾)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>長崎市の斜面市街地開発 (環境学部 杉山和一)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	ガイダンス、環境と健康の関係とは (中尾)	2	斜面市街地探検①	3	斜面市街地探検②	4	斜面市街地探検③	5	斜面市街地探検での発見 (グループディスカッションと発表会)	6	斜面市街地と人々の暮らし 外出支援について (中尾)	7	長崎市の斜面市街地開発 (環境学部 杉山和一)
回	内容																		
1	ガイダンス、環境と健康の関係とは (中尾)																		
2	斜面市街地探検①																		
3	斜面市街地探検②																		
4	斜面市街地探検③																		
5	斜面市街地探検での発見 (グループディスカッションと発表会)																		
6	斜面市街地と人々の暮らし 外出支援について (中尾)																		
7	長崎市の斜面市街地開発 (環境学部 杉山和一)																		

	8	バリアフリー住宅と高齢者専用住宅（斜面研究会理事 一級建築士 平野啓子）
	9	地域のバリアと危険個所のマップづくり
	10	障害者の在宅環境と支援（高齢者生活支援研究会）
	11	福祉住環境①（東 登志男）
	12	人々の支えあいのまちづくり（北陽町つんなむ会 三浦隆）
	13	ボランティア活動とQOL
	14	福祉住環境②（東 登志男）
	15	高齢社会での地域づくり（まとめとディスカッション）
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	配布資料	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な取り組み状況30%、グループワーク参加と発表内容・評価40%、レポート・定期考査30%	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	学部モジュールⅡ科目	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**医学部保健学科**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20132050674001	科目番号	20506740
授業科目名	人のこころ		
編集担当教員	中根 秀之		
授業担当教員名(科目責任者)	中根 秀之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中根 秀之		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[保]101		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	hinak@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科5階		
担当教員TEL	095-819-7992 内線(7992)		
担当教員オフィスアワー	中根研究室において、17:00~18:00の時間帯		
授業のねらい	心理学・精神医学的側面からの脳と心の関係、精神障害に関する基礎的内容(精神障害、その支援)について理解する。		
授業方法(学習指導法)	心理学・精神医学的側面からの脳と心の関係、精神障害に関する基礎的内容(精神障害、その支援)について、講義や精神障害に関連した映画を通して学ぶ。さらに関連する精神障害(者)に対する情報を集め、ディスカッションを通して理解を深める。		
授業到達目標	精神障害の基礎的内容や偏見・差別の克服を理解することを目標とする。		
授業内容	本セミナーでは、映画を通して精神保健・精神障害への関心を持ち、さらにインターネットや書籍などからの関連する情報収集を行い、基礎的知識を高める。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション(本モジュールの進め方の説明)	
	2	映画鑑賞(随時ディスカッション)映画の内容に関する精神医学的検討、資料の収集	
	3	映画鑑賞(随時ディスカッション)映画の内容に関する精神医学的検討、資料の収集	
	4	資料のまとめ、ディスカッション	
	5	映画鑑賞(随時ディスカッション)映画の内容に関する精神医学的検討、資料の収集	
	6	映画鑑賞(随時ディスカッション)映画の内容に関する精神医学的検討、資料の収集	
	7	資料のまとめ、ディスカッション	
	8	映画鑑賞(随時ディスカッション)映画の内容に関する精神医学的検討、資料の収集	
	9	映画鑑賞(随時ディスカッション)映画の内容に関する精神医学的検討、資料の収集	
	10	資料のまとめ、ディスカッション	
11	映画鑑賞(随時ディスカッション)映画の内容に関する精神医学的検討、資料の収集		

	12	映画鑑賞（随時ディスカッション）映画の内容に関する精神医学的検討、資料の収集
	13	資料のまとめ、ディスカッション
	14	情報提供（随時ディスカッション）映画の内容に関する精神医学的検討、資料の収集
	15	映画に関連する精神保健分野のディスカッションとまとめ
	16	
キーワード	シネマ・サイキアトリー、精神保健、精神障害	
教科書・教材・参考書	必要に応じて配布。	
成績評価の方法・基準等	レポート（80％）、ディスカッションにおける発表・報告（20％） レポートの内容は、精神保健に関連する情報とする。	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ	自学部モジュール教育	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	医学情報の検索方法などについて習熟しておく。	



タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**医学部保健学科**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20132050675001	科目番号	20506750
授業科目名	人の発達		
編集担当教員	鶴崎 俊哉		
授業担当教員名(科目責任者)	鶴崎 俊哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	鶴崎 俊哉		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生 (クラス等)	2年次生		
担当教員Eメールアドレス	toshiya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科 3階		
担当教員TEL	095-819-7960 (内線:7960)		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	人の定型発達と発達に影響を与える因子について多面的に学び、発達に障害がある場合と対比させることで発達に関する理解を深める。		
授業方法 (学習指導法)	教員およびゲストスピーカーの講義による話題提供の後、各自調べ学習を行い、翌週グループワークを行う。最終的には発達をいかに援助するかについてプレゼンテーションを行う。		
授業到達目標	医療者として発達を援助するために必要な知識、考え方を身につける。		
授業内容	定型発達に関して看護、作業療法、理学療法、保育の立場から講義・話題提供を行い、関連する知識についての調べ学習、グループワークを通して多面的に発達に関連する因子について考察する。また、発達を援助する立場に立ったとき、それぞれの立場でどのような援助ができるかについてプレゼンテーションにより自らの考えを伝える手法についても学習する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション, 運動発達: 鶴崎	
	2	運動発達に関するグループワーク	
	3	認知・対人関係・情動・行動の発達: 岩永	
	4	認知・対人関係・情動・行動の発達に関するグループワーク	
	5	母子関係・摂食の発達: 森藤	
	6	母子関係・摂食の発達に関するグループワーク	
	7	遊びの発達・集団行動の発達: ゲスト(保育園園長 柿田先生)	
	8	遊びの発達・集団行動の発達に関するグループワーク	
	9	遺伝: 森藤	
10	遺伝に関するグループワーク		

	11	発達障害：岩永
	12	発達障害に関するグループワーク
	13	運動発達の問題：鶴崎
	14	運動発達の問題に関するグループワーク
	15	プレゼンテーションおよび総括
	16	定期試験
キーワード	定型発達 こども	
教科書・教材・参考書	特に指定しない（必要に応じて資料を配付する）	
成績評価の方法・基準等	グループワークへの貢献（30%）、プレゼンテーション（20%）、定期試験（50%）	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**医学部保健学科**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20132050676001	科目番号	20506760
授業科目名	加齢		
編集担当教員	沖田 実		
授業担当教員名(科目責任者)	沖田 実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	沖田 実		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[保]併講義		
対象学生(クラス等)	2年次		
担当教員Eメールアドレス	沖田 実; mokita@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科3階		
担当教員TEL	095-819-7965		
担当教員オフィスアワー	火曜日 18:00~19:30		
授業のねらい	身体運動に密接に関わる筋・骨格系, 神経系, 呼吸・循環系を取り上げ, 加齢に伴う生物学的変化を学ぶとともに, 高齢者がその背景として抱えている身体的問題を整理する。		
授業方法(学習指導法)	PCプレゼンテーションを中心とした講義ならびにテーマ学習, グループワーク, プレゼンテーション, 討論を通じて自ら考え, 行動する学習法を身につける。		
授業到達目標	加齢に伴う筋・骨格系, 神経系, 呼吸・循環系の変化を理解する。 高齢者の身体的諸問題について理解する。		
授業内容	回	内容	
	1	ガイダンス(本科目の進め方についての説明)	
	2	加齢に伴う骨格筋の変化①(沖田 実)	
	3	加齢に伴う骨格筋の変化②(沖田 実)	
	4	加齢に伴う骨・関節の変化①(坂本淳哉; 大学病院リハビリテーション部, jun-saka@nagasaki-u.ac.jp)	
	5	加齢に伴う骨・関節の変化②(坂本淳哉)	
	6	加齢に伴う神経系の変化①(中野治郎, 保健学科, nakano-j@nagasaki-u.ac.jp)	
	7	加齢に伴う神経系の変化②(中野治郎)	
	8	加齢に伴う呼吸・循環系の変化①(田中貴子, 保健学科, tanakataka@nagasaki-u.ac.jp)	
	9	加齢に伴う呼吸・循環系の変化②(田中貴子)	
	10	グループワークにおけるテーマ設定	
11	グループワーク		

	12	グループワーク
	13	グループワーク
	14	プレゼンテーション、討論
	15	プレゼンテーション、討論
	16	レポート提出、まとめ
キーワード	加齢, 高齢者, 筋・骨格系, 神経系, 呼吸・循環系, 身体的諸問題	
教科書・教材・参考書	特になし。必要に応じて資料を配付する。	
成績評価の方法・基準等	レポート (60%), プレゼンテーションにおける発表・報告・討論 (40%) レポートの内容は, グループワークでの各自のテーマに基づいたもので, プレゼンテーションにおける討論内容も含めて整理する。	
受講要件 (履修条件)	特になし	
本科目の位置づけ	自学部モジュール教育	
学習・教育目標	高齢者の身体的諸問題の理解 科学的な探求心の習得	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)	特になし	

